

14	設備	※加圧給水ポンプ（住宅物件）の仕様については、加圧給水ポンプユニット仕様書（国土交通省仕様）による。																																																																																														
15	設備	※浄化槽仕様書による。																																																																																														
16	管渠（管渠）	給排水衛生設備・管渠	<table><tr><th>施工箇所</th><th>保温種別</th><th>区別</th></tr><tr><td>屋内露出</td><td>1. グラスウール 2. 軟断 3. 合成樹脂断熱カー</td><td>給水管 排水管 給排水 ガス管</td></tr><tr><td>機械室・倉庫</td><td>1. グラスウール 2. 軟断 3. アルミガラスクロス</td><td></td></tr><tr><td>天井内・PS内・空隙壁中</td><td>1. アルミガラスクロス化粧断熱 2. グラスウール保温断熱</td><td></td></tr><tr><td>床下・暗渠内</td><td>1. ポリスチレン 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス</td><td></td></tr><tr><td>床下・暗渠内・コンクリート内</td><td>1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス</td><td></td></tr><tr><td>屋外露出・多湿箇所</td><td>1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板</td><td></td></tr><tr><td>屋外露出・多湿箇所</td><td>1. ポリスチレン 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板</td><td></td></tr><tr><td>黒管塗装</td><td>1. 錆止めペイント（2回） 2. 鋼管ペイント（2回）</td><td></td></tr><tr><td>白管塗装</td><td>1. エッチングプライマー 2. 錆止めペイント（1回） 鋼管ペイント（2回）</td><td></td></tr></table> <table><tr><th>施工箇所</th><th>保温種別</th><th>区別</th></tr><tr><td>屋内露出</td><td>1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. 合成樹脂断熱カー</td><td>給水管 排水管 給排水 ドレン 冷水管</td></tr><tr><td>屋内露出</td><td>1. ポリスチレンフォーム保温断熱</td><td></td></tr><tr><td>屋内露出</td><td>1. 破断断熱の断熱材 2. 保温化粧ケース</td><td></td></tr><tr><td>機械室・倉庫</td><td>1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. アルミガラスクロス化粧断熱</td><td></td></tr><tr><td>機械室・倉庫</td><td>1. ポリスチレンフォーム断熱</td><td></td></tr><tr><td>天井内・PS内・空隙壁中</td><td>1. アルミガラスクロス化粧断熱 2. グラスウール保温断熱</td><td></td></tr><tr><td>天井内・PS内・空隙壁中</td><td>1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. アルミガラスクロス</td><td></td></tr><tr><td>天井内・PS内・空隙壁中</td><td>1. ポリスチレンフォーム保温断熱</td><td></td></tr><tr><td></td><td>1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス</td><td></td></tr><tr><td></td><td>1. ポリスチレンフォーム保温断熱</td><td></td></tr><tr><td>屋外露出・多湿箇所</td><td>1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板</td><td></td></tr><tr><td>屋外露出・多湿箇所</td><td>1. ポリスチレンフォーム保温断熱</td><td></td></tr><tr><td>屋外露出・多湿箇所</td><td>1. 破断断熱の断熱材 2. 保温化粧ケース</td><td></td></tr></table> <table><tr><th>区分</th><th>屋内露出</th><th>屋内隠ぺい</th><th>屋外露出</th></tr><tr><td>矩形風道</td><td>1. 断 2. アルミガラスクロス化粧断熱 3. アルミガラスクロス化粧テープ</td><td>1. 断 2. グラスウール断熱 3. 着色断熱断熱</td><td>1. 断 2. グラスウール断熱 3. アルミガラスクロス化粧テープ</td></tr><tr><td>円形風道（スパイラルダクト）</td><td>1. アルミガラスクロス化粧断熱 2. アルミガラスクロス化粧テープ</td><td>1. グラスウール断熱 2. 軟断 3. 着色断熱断熱</td><td>1. グラスウール断熱 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板</td></tr></table> <table><tr><th>区分</th><th>保温種別</th></tr><tr><td>矩形</td><td>1. 断 2. アルミガラスクロス化粧断熱 3. アルミガラスクロス化粧テープ 4. 断 5. アルミガラスクロス化粧テープ</td></tr><tr><td>円形</td><td>1. 断 2. アルミガラスクロス化粧断熱 3. アルミガラスクロス化粧テープ</td></tr></table> <table><tr><th>煙道</th><th>保温種別</th></tr><tr><td>1. ロックウールブランケット 2. 軟断 3. 着色断熱断熱</td></tr></table> ※ ポリスチレンフォーム保温断熱及びロックウール保温断熱は、保温板の使用が困難な箇所は、ロックウールフェルトを使用してもよい。 ※ ストレーナー・弁の保温は、屋内屋外ともビスなどにより容易に着脱できる構造とすること。 ※ 防火区画を貫通する管の保温は、その貫通する部分をロックウール保温材とする。 ※ 蒸気管、温水管の保温は、ポリエチレンフィルムを除く。 ※ スパイラルダクト（フランジ部を除く。）の保温は、グラスウール保温板32K使用してもよい。 ※ Oダクトが室内空調空間を経由する場合は保温すること。 ※ 全熱交換器の一次側OA、E.Aダクトは保温工事を施すこと。 ※ ドレン管の保温は、排水管の項による。	施工箇所	保温種別	区別	屋内露出	1. グラスウール 2. 軟断 3. 合成樹脂断熱カー	給水管 排水管 給排水 ガス管	機械室・倉庫	1. グラスウール 2. 軟断 3. アルミガラスクロス		天井内・PS内・空隙壁中	1. アルミガラスクロス化粧断熱 2. グラスウール保温断熱		床下・暗渠内	1. ポリスチレン 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス		床下・暗渠内・コンクリート内	1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス		屋外露出・多湿箇所	1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板		屋外露出・多湿箇所	1. ポリスチレン 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板		黒管塗装	1. 錆止めペイント（2回） 2. 鋼管ペイント（2回）		白管塗装	1. エッチングプライマー 2. 錆止めペイント（1回） 鋼管ペイント（2回）		施工箇所	保温種別	区別	屋内露出	1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. 合成樹脂断熱カー	給水管 排水管 給排水 ドレン 冷水管	屋内露出	1. ポリスチレンフォーム保温断熱		屋内露出	1. 破断断熱の断熱材 2. 保温化粧ケース		機械室・倉庫	1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. アルミガラスクロス化粧断熱		機械室・倉庫	1. ポリスチレンフォーム断熱		天井内・PS内・空隙壁中	1. アルミガラスクロス化粧断熱 2. グラスウール保温断熱		天井内・PS内・空隙壁中	1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. アルミガラスクロス		天井内・PS内・空隙壁中	1. ポリスチレンフォーム保温断熱			1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス			1. ポリスチレンフォーム保温断熱		屋外露出・多湿箇所	1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板		屋外露出・多湿箇所	1. ポリスチレンフォーム保温断熱		屋外露出・多湿箇所	1. 破断断熱の断熱材 2. 保温化粧ケース		区分	屋内露出	屋内隠ぺい	屋外露出	矩形風道	1. 断 2. アルミガラスクロス化粧断熱 3. アルミガラスクロス化粧テープ	1. 断 2. グラスウール断熱 3. 着色断熱断熱	1. 断 2. グラスウール断熱 3. アルミガラスクロス化粧テープ	円形風道（スパイラルダクト）	1. アルミガラスクロス化粧断熱 2. アルミガラスクロス化粧テープ	1. グラスウール断熱 2. 軟断 3. 着色断熱断熱	1. グラスウール断熱 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板	区分	保温種別	矩形	1. 断 2. アルミガラスクロス化粧断熱 3. アルミガラスクロス化粧テープ 4. 断 5. アルミガラスクロス化粧テープ	円形	1. 断 2. アルミガラスクロス化粧断熱 3. アルミガラスクロス化粧テープ	煙道	保温種別	1. ロックウールブランケット 2. 軟断 3. 着色断熱断熱
施工箇所	保温種別	区別																																																																																														
屋内露出	1. グラスウール 2. 軟断 3. 合成樹脂断熱カー	給水管 排水管 給排水 ガス管																																																																																														
機械室・倉庫	1. グラスウール 2. 軟断 3. アルミガラスクロス																																																																																															
天井内・PS内・空隙壁中	1. アルミガラスクロス化粧断熱 2. グラスウール保温断熱																																																																																															
床下・暗渠内	1. ポリスチレン 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス																																																																																															
床下・暗渠内・コンクリート内	1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス																																																																																															
屋外露出・多湿箇所	1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板																																																																																															
屋外露出・多湿箇所	1. ポリスチレン 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板																																																																																															
黒管塗装	1. 錆止めペイント（2回） 2. 鋼管ペイント（2回）																																																																																															
白管塗装	1. エッチングプライマー 2. 錆止めペイント（1回） 鋼管ペイント（2回）																																																																																															
施工箇所	保温種別	区別																																																																																														
屋内露出	1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. 合成樹脂断熱カー	給水管 排水管 給排水 ドレン 冷水管																																																																																														
屋内露出	1. ポリスチレンフォーム保温断熱																																																																																															
屋内露出	1. 破断断熱の断熱材 2. 保温化粧ケース																																																																																															
機械室・倉庫	1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. アルミガラスクロス化粧断熱																																																																																															
機械室・倉庫	1. ポリスチレンフォーム断熱																																																																																															
天井内・PS内・空隙壁中	1. アルミガラスクロス化粧断熱 2. グラスウール保温断熱																																																																																															
天井内・PS内・空隙壁中	1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. アルミガラスクロス																																																																																															
天井内・PS内・空隙壁中	1. ポリスチレンフォーム保温断熱																																																																																															
	1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス																																																																																															
	1. ポリスチレンフォーム保温断熱																																																																																															
屋外露出・多湿箇所	1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板																																																																																															
屋外露出・多湿箇所	1. ポリスチレンフォーム保温断熱																																																																																															
屋外露出・多湿箇所	1. 破断断熱の断熱材 2. 保温化粧ケース																																																																																															
区分	屋内露出	屋内隠ぺい	屋外露出																																																																																													
矩形風道	1. 断 2. アルミガラスクロス化粧断熱 3. アルミガラスクロス化粧テープ	1. 断 2. グラスウール断熱 3. 着色断熱断熱	1. 断 2. グラスウール断熱 3. アルミガラスクロス化粧テープ																																																																																													
円形風道（スパイラルダクト）	1. アルミガラスクロス化粧断熱 2. アルミガラスクロス化粧テープ	1. グラスウール断熱 2. 軟断 3. 着色断熱断熱	1. グラスウール断熱 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板																																																																																													
区分	保温種別																																																																																															
矩形	1. 断 2. アルミガラスクロス化粧断熱 3. アルミガラスクロス化粧テープ 4. 断 5. アルミガラスクロス化粧テープ																																																																																															
円形	1. 断 2. アルミガラスクロス化粧断熱 3. アルミガラスクロス化粧テープ																																																																																															
煙道	保温種別																																																																																															
1. ロックウールブランケット 2. 軟断 3. 着色断熱断熱																																																																																																
17	住宅設備工事（管渠）	給排水衛生設備・管渠	<table><tr><th>施工箇所</th><th>保温種別</th><th>区</th><th>分</th></tr><tr><td>屋内露出（住宅内）黒管</td><td>1. 錆止めペイント（2回） 2. 鋼管ペイント（2回）</td><td>給水</td><td>排水 給排水 ガス</td></tr><tr><td>屋内露出（住宅内）白管</td><td>1. エッチングプライマー 2. 錆止めペイント（1回） 鋼管ペイント（2回）</td><td></td><td></td></tr><tr><td>屋内露出（住宅外）</td><td>1. エッチングプライマー 2. 軟断 3. 断熱 4. 断熱 5. 目止め 6. 鋼管ペイント（2回）</td><td></td><td></td></tr><tr><td>機械室内</td><td>1. グラスウール 2. 軟断 3. 断熱 4. アルミガラスクロス</td><td></td><td></td></tr><tr><td>メーターボックス内黒管</td><td>1. 錆止めペイント（2回） 2. 鋼管ペイント（2回）</td><td></td><td></td></tr><tr><td>メーターボックス内白管</td><td>1. エッチングプライマー 2. 錆止めペイント（1回） 鋼管ペイント（2回）</td><td></td><td></td></tr><tr><td>メーターボックス内</td><td>1. グラスウール 2. 軟断 3. アルミガラスクロス</td><td></td><td></td></tr><tr><td>床下・暗渠内</td><td>1. ポリスチレン 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス</td><td></td><td></td></tr><tr><td>床下・暗渠内</td><td>1. 錆止めペイント（管部）</td><td></td><td></td></tr><tr><td>天井内・PS内</td><td>1. グラスウール 2. 軟断 3. アルミガラスクロス</td><td></td><td></td></tr><tr><td>スラブ上床板間転がし</td><td>1. 保温テープ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>スラブ上床板間転がし</td><td>1. ねじ締め止め</td><td></td><td></td></tr><tr><td>洗面台内</td><td>1. エッチングプライマー 2. 錆止めペイント（1回） 鋼管ペイント（2回）</td><td></td><td></td></tr><tr><td>屋外露出</td><td>1. ポリスチレン 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板</td><td></td><td></td></tr><tr><td>屋外露出</td><td>1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板</td><td></td><td></td></tr><tr><td>屋外露出黒管</td><td>1. 錆止めペイント 2. 鋼管ペイント（2回）</td><td></td><td></td></tr><tr><td>屋外露出白管</td><td>1. エッチングプライマー 2. 錆止めペイント（1回） 鋼管ペイント（2回）</td><td></td><td></td></tr><tr><td>コンクリート内</td><td>1. 0.4mm厚防食ビニールテープ1/2箇所1回巻き</td><td></td><td></td></tr><tr><td>木造壁内</td><td>1. 保温テープ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>洗し裏</td><td>1. 保温テープ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>土中埋設</td><td>1. ベースストラタム系 2. ベトラタム系防食テープ 1/2箇所1回巻き</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 硬質塩化ビニル管及び鉄管のコンクリート、地中埋設部は防食施工しない。 ※ サニタリーベンド及び通気管の屋内露出部分は塗装する。 ※ 屋内露出（便所）の通気管は塗装する。 ※ コンクリート貫通部分には、防食処理を行う。 ※ 間仕切壁（P.L.板除く）貫通の場合は両側にプラスチックプレート取付のこと。 ※ 支持金物仕様PS内（銅製）、屋外（SUS製）、その他（樹脂製）とする。 ※ さや管ヘッダー工法におけるヘッダー管は保温を行うこと。	施工箇所	保温種別	区	分	屋内露出（住宅内）黒管	1. 錆止めペイント（2回） 2. 鋼管ペイント（2回）	給水	排水 給排水 ガス	屋内露出（住宅内）白管	1. エッチングプライマー 2. 錆止めペイント（1回） 鋼管ペイント（2回）			屋内露出（住宅外）	1. エッチングプライマー 2. 軟断 3. 断熱 4. 断熱 5. 目止め 6. 鋼管ペイント（2回）			機械室内	1. グラスウール 2. 軟断 3. 断熱 4. アルミガラスクロス			メーターボックス内黒管	1. 錆止めペイント（2回） 2. 鋼管ペイント（2回）			メーターボックス内白管	1. エッチングプライマー 2. 錆止めペイント（1回） 鋼管ペイント（2回）			メーターボックス内	1. グラスウール 2. 軟断 3. アルミガラスクロス			床下・暗渠内	1. ポリスチレン 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス			床下・暗渠内	1. 錆止めペイント（管部）			天井内・PS内	1. グラスウール 2. 軟断 3. アルミガラスクロス			スラブ上床板間転がし	1. 保温テープ			スラブ上床板間転がし	1. ねじ締め止め			洗面台内	1. エッチングプライマー 2. 錆止めペイント（1回） 鋼管ペイント（2回）			屋外露出	1. ポリスチレン 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板			屋外露出	1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板			屋外露出黒管	1. 錆止めペイント 2. 鋼管ペイント（2回）			屋外露出白管	1. エッチングプライマー 2. 錆止めペイント（1回） 鋼管ペイント（2回）			コンクリート内	1. 0.4mm厚防食ビニールテープ1/2箇所1回巻き			木造壁内	1. 保温テープ			洗し裏	1. 保温テープ			土中埋設	1. ベースストラタム系 2. ベトラタム系防食テープ 1/2箇所1回巻き							
施工箇所	保温種別	区	分																																																																																													
屋内露出（住宅内）黒管	1. 錆止めペイント（2回） 2. 鋼管ペイント（2回）	給水	排水 給排水 ガス																																																																																													
屋内露出（住宅内）白管	1. エッチングプライマー 2. 錆止めペイント（1回） 鋼管ペイント（2回）																																																																																															
屋内露出（住宅外）	1. エッチングプライマー 2. 軟断 3. 断熱 4. 断熱 5. 目止め 6. 鋼管ペイント（2回）																																																																																															
機械室内	1. グラスウール 2. 軟断 3. 断熱 4. アルミガラスクロス																																																																																															
メーターボックス内黒管	1. 錆止めペイント（2回） 2. 鋼管ペイント（2回）																																																																																															
メーターボックス内白管	1. エッチングプライマー 2. 錆止めペイント（1回） 鋼管ペイント（2回）																																																																																															
メーターボックス内	1. グラスウール 2. 軟断 3. アルミガラスクロス																																																																																															
床下・暗渠内	1. ポリスチレン 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス																																																																																															
床下・暗渠内	1. 錆止めペイント（管部）																																																																																															
天井内・PS内	1. グラスウール 2. 軟断 3. アルミガラスクロス																																																																																															
スラブ上床板間転がし	1. 保温テープ																																																																																															
スラブ上床板間転がし	1. ねじ締め止め																																																																																															
洗面台内	1. エッチングプライマー 2. 錆止めペイント（1回） 鋼管ペイント（2回）																																																																																															
屋外露出	1. ポリスチレン 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板																																																																																															
屋外露出	1. グラスウール 2. 軟断 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板																																																																																															
屋外露出黒管	1. 錆止めペイント 2. 鋼管ペイント（2回）																																																																																															
屋外露出白管	1. エッチングプライマー 2. 錆止めペイント（1回） 鋼管ペイント（2回）																																																																																															
コンクリート内	1. 0.4mm厚防食ビニールテープ1/2箇所1回巻き																																																																																															
木造壁内	1. 保温テープ																																																																																															
洗し裏	1. 保温テープ																																																																																															
土中埋設	1. ベースストラタム系 2. ベトラタム系防食テープ 1/2箇所1回巻き																																																																																															

建設副産物の処理について

18

資源の有効利用、環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制、再利用、適正処理を推進する。

現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別保管場所を設置し集積すること。

また、「再生資源の利用の促進に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び建設廃棄物処理指針その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、指定された方法により適正に処理を行うこと。

工事に際しては、工事着手時に「建設副産物処理計画書」、工事竣工時に「建設副産物処理結果報告書」（共に添付書類を含む。）を提出すること。

指定副産物（原則として再資源化施設へ持込むもの）	その他の副産物
○がれき類（コンクリート塊）（アスファルト塊） ・木くず ・汚泥	○廃プラスチック ○ガラス、陶磁器くず ・廃石こうボード ○金属くず ・繊維くず

特別管理産業廃棄物

・廃石膏等
「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル（環境庁大気保全局）」に従い、収集、運搬、処分を行う。

・廃PCB等
「電気事業法：電気関係係保規則」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、報告書の作成・提出を行うとともに、適切に保管できるようにして施設管理者に引き渡すこと。

※参考受入場所は現場説明書による

建設副産物の処理内容	処 理 内 容	備 考
現場内における分別		
現場内分別保管場所の設置		
現場内分別保管場所までの運搬		
分別保管場所からの積み込み・運搬・処分		
「建設副産物の処置計画書」の作成		下請工事の場合は不要
「建設副産物の処理結果報告書」の作成		下請工事の場合は不要
「再生資源利用計画書」の作成		下請工事の場合は不要
「再生資源利用実施書」の作成		下請工事の場合は不要

「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に従い処理すること。

業務用冷凍空調機器の有無の事前確認の協力
委託確認書

発注者（施設管理者）
↓
工事請負業者
↓
第1種フロン類回収業者
↓
フロン類破壊業者

業務用冷凍空調機器の有無の確認
確認結果を書面で説明
フロン回収証明書
引取証明書、業者登録書のコピー
↑
引取証明書
↑
引取証明書、業者登録書のコピー

フロン類引渡
回収・運搬・破壊費用支払
委託確認書

フロン類回収・運搬

フロン類破壊処理、一部再生利用

※ 工事請負業者は、第1種フロン類充てん回収業者にフロン回収処理を依頼し、回収後、引取証明書及び第1種フロン類充てん回収業者登録書のコピーの発行を受け、竣工図書に添付すること。

※ 家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）に該当する機器（ルームエアコン等）については、適切に処理し、管理票（家電リサイクル券）を竣工図書に添付すること。

中水処理設備

20

1. 水源	・雨水 ・雑用水処理水 ・井水																								
2. 配管材料	・一般配管 ・塩ビライニング鋼管（SGP-VA） ・塩ビライニング鋼管（SGP-VB） ・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（H IVP）（屋内） ・ステンレス鋼管（SUS）（圧接合・溶接合・継手接合） ・塩ビライニング鋼管（SGP-VD） ・ポリ粉体鋼管（SGP-PD） ※ プチルゴム系コーキングテープ又はゴムリングで完全に密封すること。 ・塩ビライニング鋼管（SGP-VD） ・ポリ粉体鋼管（SGP-PD） ・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（H IVP） ・水道用硬質塩化ビニル管（VP） ※ プチルゴム系コーキングテープ又はゴムリングで完全に密封すること。 ・ポリエチレン管 1種（PE）（溶着接合・金属継手接合）																								
3. 誤接続の防止対策	<table><tr><th>配 管 等</th><th>1. 保温前の配管に若草色の着色塗装を行う。</th><th>2. 保温後の上には若草色の表示テープを1箇所3回巻きにし、1m間隔に巻く。</th></tr><tr><td>屋内隠ぺい配管</td><td></td><td></td></tr><tr><td>屋内・屋外露出配管</td><td>1. 保温前の配管に若草色の着色塗装を行う。</td><td>2. 保温後の上には「処理水」と表示する。</td></tr><tr><td>地中埋設部</td><td>1. 埋設前の配管に若草色の表示テープを1箇所3回巻きにし、1m間隔に巻く。</td><td></td></tr><tr><td>コンクリート内・埋設部の配管</td><td>1. 「処理水」の文字入り埋設標識テープ（黄色）を布設する。（地中埋設部）</td><td></td></tr><tr><td>メーター</td><td>1. メーター本体に若草色の着色塗装を行うこと。</td><td>2. メーターボックス蓋は「処理水」入りを使用すること。</td></tr><tr><td>バルブ等</td><td>1. バルブハンドルには若草色の着色塗装を行うこと。</td><td>2. バルブ等で誤操作する恐れのある箇所には、標示板等を取り付け処理水の等であることが識別できるようにする。</td></tr><tr><td></td><td>3. 地中埋設バルブの鉄蓋は「処理水」入りを使用すること。</td><td></td></tr></table> 注）若草色とは黄緑色をいう。 処理水用の若草色表示テープ、黄色の埋設標識テープは福岡市管工事組合に常備。 井戸水を雑用水として使用する場合は、上表において「若草色を紫色に」、 「処理水を雑用水」と読みかえる。	配 管 等	1. 保温前の配管に若草色の着色塗装を行う。	2. 保温後の上には若草色の表示テープを1箇所3回巻きにし、1m間隔に巻く。	屋内隠ぺい配管			屋内・屋外露出配管	1. 保温前の配管に若草色の着色塗装を行う。	2. 保温後の上には「処理水」と表示する。	地中埋設部	1. 埋設前の配管に若草色の表示テープを1箇所3回巻きにし、1m間隔に巻く。		コンクリート内・埋設部の配管	1. 「処理水」の文字入り埋設標識テープ（黄色）を布設する。（地中埋設部）		メーター	1. メーター本体に若草色の着色塗装を行うこと。	2. メーターボックス蓋は「処理水」入りを使用すること。	バルブ等	1. バルブハンドルには若草色の着色塗装を行うこと。	2. バルブ等で誤操作する恐れのある箇所には、標示板等を取り付け処理水の等であることが識別できるようにする。		3. 地中埋設バルブの鉄蓋は「処理水」入りを使用すること。	
配 管 等	1. 保温前の配管に若草色の着色塗装を行う。	2. 保温後の上には若草色の表示テープを1箇所3回巻きにし、1m間隔に巻く。																							
屋内隠ぺい配管																									
屋内・屋外露出配管	1. 保温前の配管に若草色の着色塗装を行う。	2. 保温後の上には「処理水」と表示する。																							
地中埋設部	1. 埋設前の配管に若草色の表示テープを1箇所3回巻きにし、1m間隔に巻く。																								
コンクリート内・埋設部の配管	1. 「処理水」の文字入り埋設標識テープ（黄色）を布設する。（地中埋設部）																								
メーター	1. メーター本体に若草色の着色塗装を行うこと。	2. メーターボックス蓋は「処理水」入りを使用すること。																							
バルブ等	1. バルブハンドルには若草色の着色塗装を行うこと。	2. バルブ等で誤操作する恐れのある箇所には、標示板等を取り付け処理水の等であることが識別できるようにする。																							
	3. 地中埋設バルブの鉄蓋は「処理水」入りを使用すること。																								

4. 試験

図1-1 配管埋設参考埋設深さH	図1-2 水槽埋設参考
1 300以上 2 600以上 3 以上	
図2 弁機	VC-1~VC-5 VC-P
図3-1 ドロップ機参考図（※副管サイズは主管サイズより1サイズ下でも可。）	図3-2 小口径機取付要領図
（1）重荷重	（2）軽荷重

図4 異種金属接続部	図5 防火区画貫通部措置
異種金属接続部は、屋外埋設配管を除き電食防止のため、異種金属接続用絶縁継手を使用すること。使用箇所を下記に示す。	給水管、排水管及び通気管等が防火区画等を貫通する場合の措置は、建築基準法施行令第129条の2の5第1項第7号に規定されており、次のいずれかに該当すること。
1. 砲金製バルブと塩ビライニング鋼管接続部（コア入りバルブは除く。）	1. 防火区画等の貫通部分及び両側1m以内を不燃材料で造ること。（右参考図参照）
2. 衛生器具（水栓類、便器、洗面器等）接続管と塩ビライニング鋼管接続部	2. 平成12年建設省告示第1422号に適合すること。（下表）（難燃材料又は硬質塩化ビニル管（VP）を用いる場合）
3. マイクロエアベンド及びエアセパレーターと塩ビライニング鋼管接続部	
4. 水道メーター（砲金）、伸縮弁（砲金）、伸縮メーターユニオン（砲金）と塩ビライニング鋼管接続部	
5. 木抜きテスト弁と塩ビライニング鋼管接続部	
6. 上記以外の異種金属接続部	
表1 厨房排気ダクトの板厚	
厨房排気ダクト（矩形ダクトに限る）の板厚については、以下による	
ダクトの長辺	板厚
450以下	垂直鉄板 ステンレス鋼板
450を超え1,200以下	0.6以上 0.5以上
1,200を超え1,800以下	0.8以上 0.6以上
1,800を超えるもの	1.0以上 0.8以上
1,800を超えるもの	1.2以上
承認欄	工事名称 やすらぎ苑空調改修工事実施設計 日付 図面番号 M-02
図面名称 機械設備工事 特記仕様書-2 縮尺 NO SCALE	
荒木祐徳デザイン研究所	
行橋市行事4丁目20-36 事務所登録：福岡 第1-44292号	
TEL:0930-22-8951 建築士登録：第94687号 荒 木 祐 徳	

空調機器仕様表※改修後（新設）

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 気 特 性			台数	設 置 室 名	備 考
			KW	φ	V			
MAC-1	ビルマルチエアコン （室外機）	空冷ヒートポンプ式（13馬力相当）				1	RF：1F屋上	待合室系統
		冷房能力：40.0kW（冷房時：消費電力）	14.5	3	200			
		暖房能力：45.0kW（暖房時：消費電力）	13.5	3	200			
		COMP（室外機）	9.4	3	200			
		FAN（室外機）	1.0	3	200			
		付属品：室外機用スプリング防振架台						
MAC-1-1	ビルマルチエアコン （室内機）	天井埋込ビルトイン形（5馬力相当）				1	1F：待合室-1	
		冷房能力：14.0kW						
		暖房能力：16.0kW						
		FAN（室内機）：2,040m3/h×100mmAq（機外）	0.3	1	200			
		付属品：吹出ダクト用接続部材・下吸込グリルセット・リモコン						
MAC-1-2	ビルマルチエアコン （室内機）	天井埋込ビルトイン形（4馬力相当）				2	1F：待合室-2 1F：待合室-3	
		冷房能力：11.2kW						
		暖房能力：12.5kW						
		FAN（室内機）：1,680m3/h×100mmAq（機外）	0.3	1	200			
		付属品：吹出ダクト用接続部材・下吸込グリルセット・リモコン						
MAC-1-3	ビルマルチエアコン （室内機）	天井カセット形2方向吹出し（3馬力相当）				1	1F：待合室廊下	
		冷房能力：8.0kWクラス						
		暖房能力：9.0kWクラス						
		FAN（室内機）	0.15	1	200			
		付属品：化粧パネル・リモコン						
MAC-2	ビルマルチエアコン （室外機）	空冷ヒートポンプ式（10馬力相当）				1	RF：2F屋上	お別れ室系統
		冷房能力：28.0kW（冷房時：消費電力）	11.6	3	200			
		暖房能力：31.5kW（暖房時：消費電力）	9.5	3	200			
		COMP（室外機）	6.4	3	200			
		FAN（室外機）	1.0	3	200			
		付属品：室外機用スプリング防振架台						
MAC-2-1	ビルマルチエアコン （室内機）	天井埋込ビルトイン形（5馬力相当）				2	1F：お別れ室-1 1F：お別れ室-2	
		冷房能力：14.0kW						
		暖房能力：16.0kW						
		FAN（室内機）：2,040m3/h×100mmAq（機外）	0.3	1	200			
		付属品：吹出ダクト用接続部材・下吸込グリルセット・リモコン						
MAC-2-2	ビルマルチエアコン （室内機）	天井カセット形2方向吹出し（3馬力相当）				1	1F：お別れホール	
		冷房能力：8.0kW						
		暖房能力：9.0kW						
		FAN（室内機）	0.15	1	200			
		付属品：化粧パネル・リモコン						

（注記-1）冷媒はオンノン破壊係数0のものとする。
（注記-2）空調機器の能力はインバーター制御の最大値とする。
（注記-3）空調機器はリプレース（リニューアル）対応機器とする。
※既存冷媒管再利用による、配管洗浄不要タイプ機種とする。

空調機器仕様表※改修後（新設）

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 気 特 性			台数	設 置 室 名	備 考
			KW	φ	V			
ACP-1	パッケージ形空調機	空冷ヒートポンプ式天井カセット形・4方向吹出し（2馬力相当）				2	1F：事務室	室外機：1F屋上
		冷房能力：5.6kW（定格：5.0kW）（冷房時：消費電力）	1.4	3	200		1F：コントロール室	室外機：2F屋上
		暖房能力：7.1kW（定格：5.6kW）（暖房時：消費電力）	1.4	3	200			
		COMP（室外機）	1.2	3	200			
		付属品：化粧パネル・リモコン						
ACP-2	パッケージ形空調機	空冷ヒートポンプ式天井カセット形・4方向吹出し（1.5馬力相当）				1	1F：休憩室	室外機：2F屋上
		冷房能力：4.0kW（定格：3.6kW）（冷房時：消費電力）	0.9	3	200			
		暖房能力：5.2kW（定格：4.0kW）（暖房時：消費電力）	0.9	3	200			
		COMP（室外機）	0.8	3	200			
		付属品：化粧パネル・リモコン						
ACP-3	パッケージ形空調機	空冷ヒートポンプ式天井ビルトイン形（5馬力相当）				3	1F：収骨室-1	室外機：2F屋上
		冷房能力：14.0kW（定格：12.5kW）（冷房時：消費電力）	5.0	3	200		1F：収骨室-2	室外機：2F屋上
		暖房能力：18.0kW（定格：14.0kW）（暖房時：消費電力）	4.5	3	200		1F：エントランスロビー	室外機：2F屋上
		COMP（室外機）	3.0	3	200			
		FAN（室内機）：2,040m3/h×100mmAq（機外）	0.3	3	200			
ACP-4	パッケージ形空調機	空冷ヒートポンプ式床置ダクト形（20馬力相当）				1	室内機：1F屋上（機械室）	待合ホール系統
		冷房能力：56.0kW（定格：50.0kW）（冷房時：消費電力）	19.5	3	200		室外機：1F屋上	
		暖房能力：63.0kW（定格：56.0kW）（暖房時：消費電力）	18.0	3	200			
		COMP（室外機）	14.4	3	200			
		FAN（室内機）：9,900m3/h×300mmAq（機外）	3.7	3	200			

（注記-1）冷媒はオンノン破壊係数0のものとする。
（注記-2）空調機器の能力はインバーター制御の最大値とする。
（注記-3）空調機器はリプレース（リニューアル）対応機器とする。
※既存冷媒管再利用による、配管洗浄不要タイプ機種とする。

凡 例

名 称	記 号	管 材 質
冷媒管	R	冷媒用被覆銅管（CU）
ドレン管	D	硬質電化ビニール管（VP）
空調ダクト	SD	スパイラルダクト＋保温巻・保温付フレキシダクト
リモコン線		EM-CEE2.0-2C
遠方制御線		EM-CEE2.0-2C
渡り線		IV-1.6mm-3本（冷媒管に共巻）

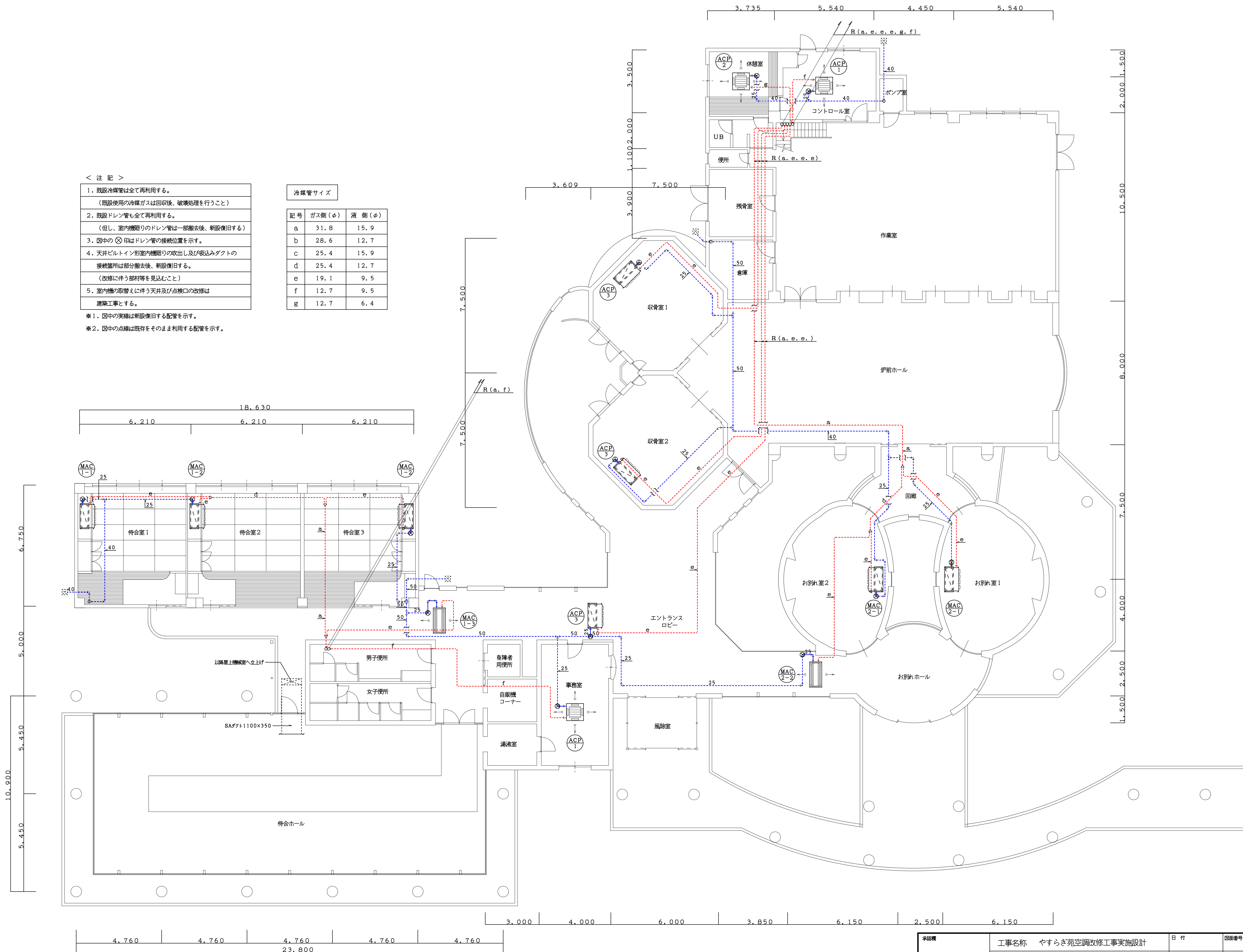
備 考	承認欄	工事名称	やすらぎ苑空調改修工事実施設計	日 付	図面番号
		図面名称	（改修後）空調設備工事 機器表	縮 尺 S=1/100	M-03
		荒木祐徳デザイン研究所 行橋市行事4丁目20-36 事務所登録：福岡 第1-44292号 TEL:0930-22-8951 建築士登録： 第94687号 荒 木 祐 徳			

< 注 記 >

1. 既設冷媒管は全て再利用する。 (既設使用の冷媒ガスは回収後、破壊処理を行うこと)
2. 既設ドレン管も全て再利用する。 (但し、室内機廻りのドレン管は一部撤去後、新設復旧する)
3. 図中の ⊗ 印はドレン管の接続位置を示す。
4. 天井ビルトイン形室内機廻りの吹出し及び吸込みダクトの 接続箇所は部分撤去後、新設復旧する。 (改修に伴う部材等を見込むこと)
5. 室内機の取替えに伴う天井及び点検口の改修は 建築工事とする。

※1. 図中の実線は新設復旧する配管を示す。
※2. 図中の点線は既存をそのまま利用する配管を示す。

冷媒管サイズ		
記号	ガス側(φ)	液側(φ)
a	31.8	15.9
b	28.6	12.7
c	25.4	15.9
d	25.4	12.7
e	19.1	9.5
f	12.7	9.5
g	12.7	6.4



備考

承認欄	工事名称	やすらぎ苑空調改修工事実施設計	日付	図面番号
	図面名称	(改修後)空調設備工事 1階平面図	縮尺 S=1/100	M-04
	荒木祐徳デザイン研究所 行橋市行幸4丁目20-36 事務所登録: 福岡 第1-44292号 TEL: 0930-22-8951 建築士登録: 第94687号 荒木 祐 徳			

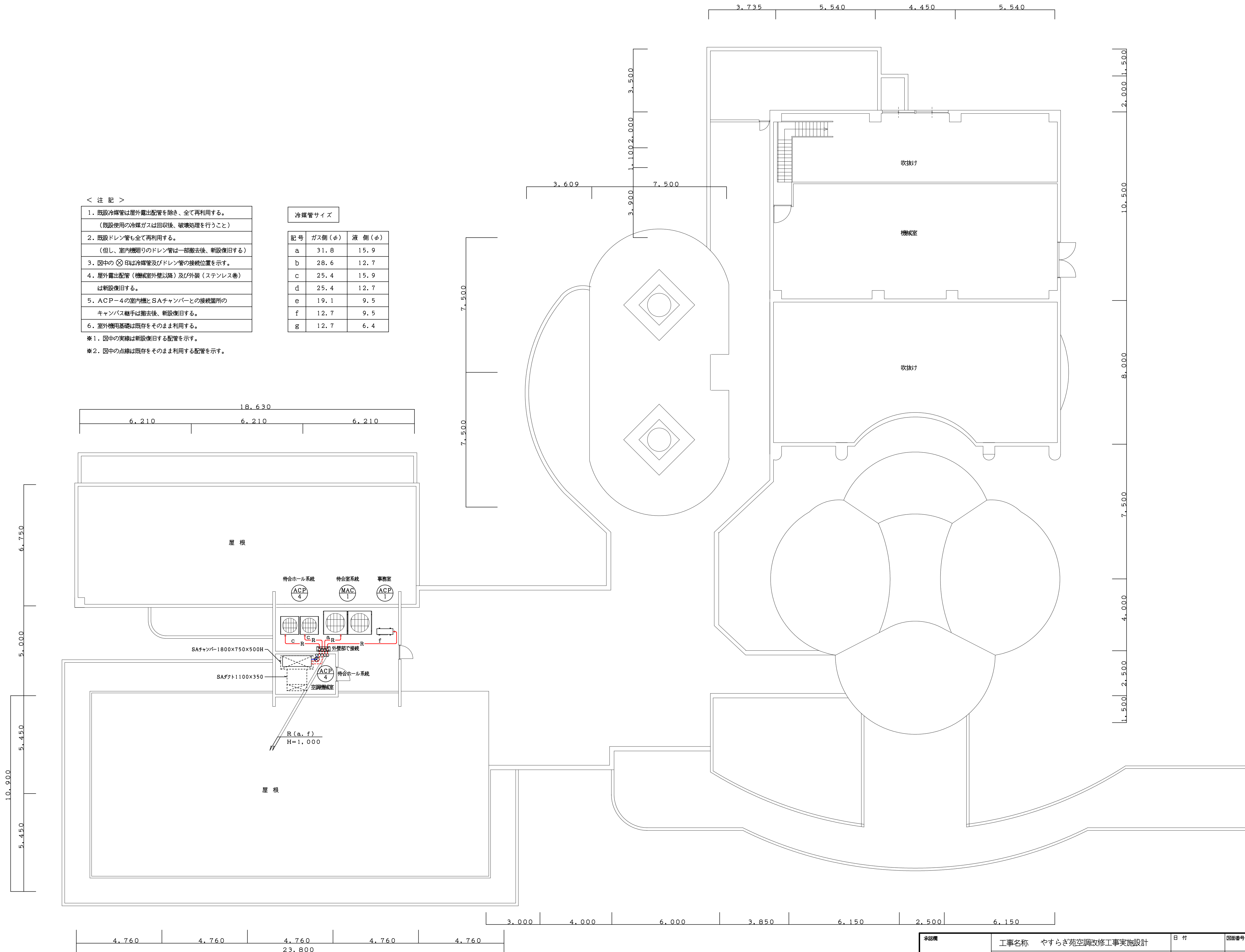
< 注 記 >

1. 既設冷媒管は屋外露出配管を除き、全て再利用する。
(既設使用の冷媒ガスは回収後、破壊処理を行うこと)
2. 既設ドレン管も全て再利用する。
(但し、室内機回りのドレン管は一部撤去後、新設復旧する)
3. 図中の ⊗ 印は冷媒管及びドレン管の接続位置を示す。
4. 屋外露出配管(機載室外壁以降)及び外装(ステンレス巻)は新設復旧する。
5. ACP-4の室内機とSAチャンバーとの接続箇所のキャンバス継手は撤去後、新設復旧する。
6. 室外機用基礎は既存をそのまま利用する。

※1. 図中の実線は新設復旧する配管を示す。
※2. 図中の点線は既存をそのまま利用する配管を示す。

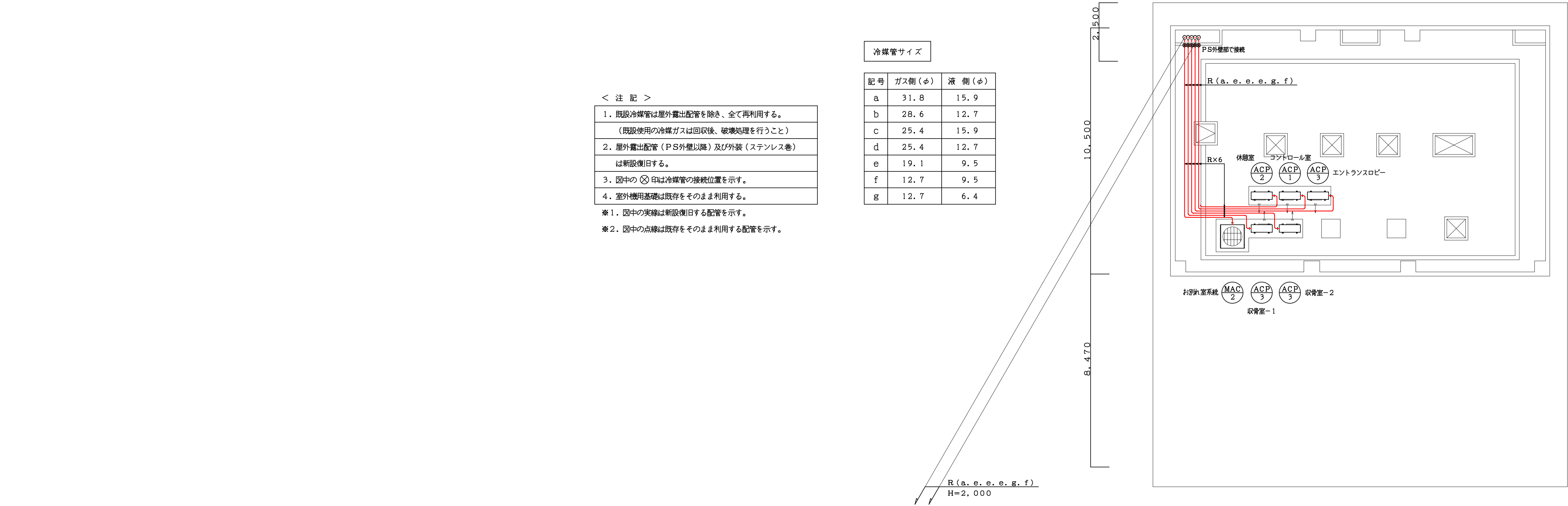
冷媒管サイズ

記号	ガス側(φ)	液側(φ)
a	31.8	15.9
b	28.6	12.7
c	25.4	15.9
d	25.4	12.7
e	19.1	9.5
f	12.7	9.5
g	12.7	6.4



備考

承認欄	工事名称	やすらぎ苑空調改修工事実施設計	日付	図面番号
	図面名称	(改修後)空調設備工事 2階平面図	縮尺 S=1/100	M-05
	荒木祐徳デザイン研究所 行橋市行幸4丁目20-36 事務所登録: 福岡 第1-44292号 TEL: 0930-22-8951 建築士登録: 第94687号 荒木 祐 徳			



空調機器仕様表※改修前（撤去）

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 気 特 性			台数	設 置 室 名	備 考
			KW	φ	V			
AC0-1	ビルマルチエアコン （室外機）	空冷ヒートポンプ式（13馬力相当）				1	RF：1F屋上	待合室系統
		冷房能力：31,500kcal/h（35.4kW）						
		暖房能力：35,500kcal/h（39.9kW）						
		COMP（室外機）：5.5+3.75KW	9.25	3	200			
		FAN（室外機）：0.22+0.14KW	0.36	3	200			
		付属品：室外機用スプリング防振架台						
AC1-1	ビルマルチエアコン （室内機）	天井埋込ビルトイン形（5馬力相当）				1	1F：待合室-1	
		冷房能力：12,500kcal/h（14.0kW）						
		暖房能力：13,200kcal/h（14.8kW）						
		FAN（室内機）：2,040m3/h×10mmAq（機外）	0.19	1	200			
		付属品：吹出ダクト用接続部材・下吸込グリルセット・リモコン						
AC1-2	ビルマルチエアコン （室内機）	天井埋込ビルトイン形（4馬力相当）				2	1F：待合室-2 1F：待合室-3	
		冷房能力：10,000kcal/h（11.2kW）						
		暖房能力：11,400kcal/h（12.8kW）						
		FAN（室内機）：1,680m3/h×10mmAq（機外）	0.16	1	200			
		付属品：吹出ダクト用接続部材・下吸込グリルセット・リモコン						
AC1-3	ビルマルチエアコン （室内機）	天井カセット形2方向吹出し（3馬力相当）				1	1F：待合室廊下	
		冷房能力：7,100kcal/h（8.0kW）						
		暖房能力：8,000kcal/h（9.0kW）						
		FAN（室内機）	0.12	1	200			
		付属品：化粧パネル・リモコン						
AC0-2	ビルマルチエアコン （室外機）	空冷ヒートポンプ式（10馬力相当）				1	RF：2F屋上	お別れ室系統
		冷房能力：25,000kcal/h（28.0kW）						
		暖房能力：28,000kcal/h（31.4kW）						
		COMP（室外機）：3.75+3.75KW	7.50	3	200			
		FAN（室外機）：0.22+0.14KW	0.36	3	200			
		付属品：室外機用スプリング防振架台						
AC1-1	ビルマルチエアコン （室内機）	天井埋込ビルトイン形（5馬力相当）				2	1F：お別れ室-1 1F：お別れ室-2	
		冷房能力：12,500kcal/h（14.0kW）						
		暖房能力：13,200kcal/h（14.8kW）						
		FAN（室内機）：2,040m3/h×10mmAq（機外）	0.19	1	200			
		付属品：吹出ダクト用接続部材・下吸込グリルセット・リモコン						
AC1-3	ビルマルチエアコン （室内機）	天井カセット形2方向吹出し（3馬力相当）				1	1F：お別れホール	
		冷房能力：7,100kcal/h（8.0kW）						
		暖房能力：8,000kcal/h（9.0kW）						
		FAN（室内機）	0.12	1	200			
		付属品：化粧パネル・リモコン						

空調機器仕様表※改修前（撤去）

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 気 特 性			台数	設 置 室 名	備 考
			KW	φ	V			
AC-1	パッケージ形空調機	空冷ヒートポンプ式天井カセット形・4方向吹出し（2馬力相当）				2	1F：事務室 1F：コントロール室	室外機：1F屋上 室外機：2F屋上
		冷房能力：5,000kcal/h（5.6kW）						
		暖房能力：5,500kcal/h（6.2kW）						
		COMP（室外機）	1.70	3	200			
		FAN（室内機）	0.04	3	200			
		付属品：化粧パネル・リモコン 付属品：室外機用スプリング防振架台						
AC-2	パッケージ形空調機	空冷ヒートポンプ式天井カセット形・4方向吹出し（1.5馬力相当）				1	1F：休憩室	室外機：2F屋上
		冷房能力：3,550kcal/h（4.0kW）						
		暖房能力：4,400kcal/h（4.9kW）						
		COMP（室外機）	1.30	3	200			
		FAN（室内機）	0.04	3	200			
		付属品：化粧パネル・リモコン 付属品：室外機用スプリング防振架台						
AC-3	パッケージ形空調機	空冷ヒートポンプ式天井ビルトイン形（5馬力相当）				3	1F：収骨室-1 1F：収骨室-2 1F：エントランスロビー	室外機：2F屋上 室外機：2F屋上 室外機：2F屋上
		冷房能力：12,500kcal/h（14.0kW）						
		暖房能力：13,200kcal/h（14.8kW）						
		COMP（室外機）	3.75	3	200			
		FAN（室内機）：2,040m3/h×10mmAq（機外）	0.23	3	200			
		付属品：吹出ダクト用接続部材・下吸込グリルセット・リモコン 付属品：室外機用スプリング防振架台						
PAC-1	パッケージ形空調機	空冷ヒートポンプ式床置ダクト形（20馬力相当）				1	室内機：1F屋上（機械室） 室外機：1F屋上	待合ホール系統
		冷房能力：50,000kcal/h（56.0kW）						
		暖房能力：53,000kcal/h（59.0kW）						
		COMP（室外機）：7.5+7.5KW	15.0	3	200			
		FAN（室内機）：3.75+3.75KW	7.5	3	200			
		FAN（室内機）：9,900m3/h×30mmAq（機外） 付属品：リモコン 付属品：室内機用及び室外機用スプリング防振架台						

凡 例

名 称	記 号	管 材 質
冷媒管	R	冷媒用被覆銅管（CU）
ドレン管	D	硬質電化ビニール管（VP）
空調ダクト	SD	スパイラルダクト＋保温巻・保温付フレキダクト
リモコン線		EM-CEE2.0-2C
遠方制御線		EM-CEE2.0-2C
渡り線		IV-1.6mm-3本（冷媒管に共巻）

備考

承認欄

工事名称

やすらぎ苑空調改修工事実施設計

日付

図面番号

M-07

図面名称

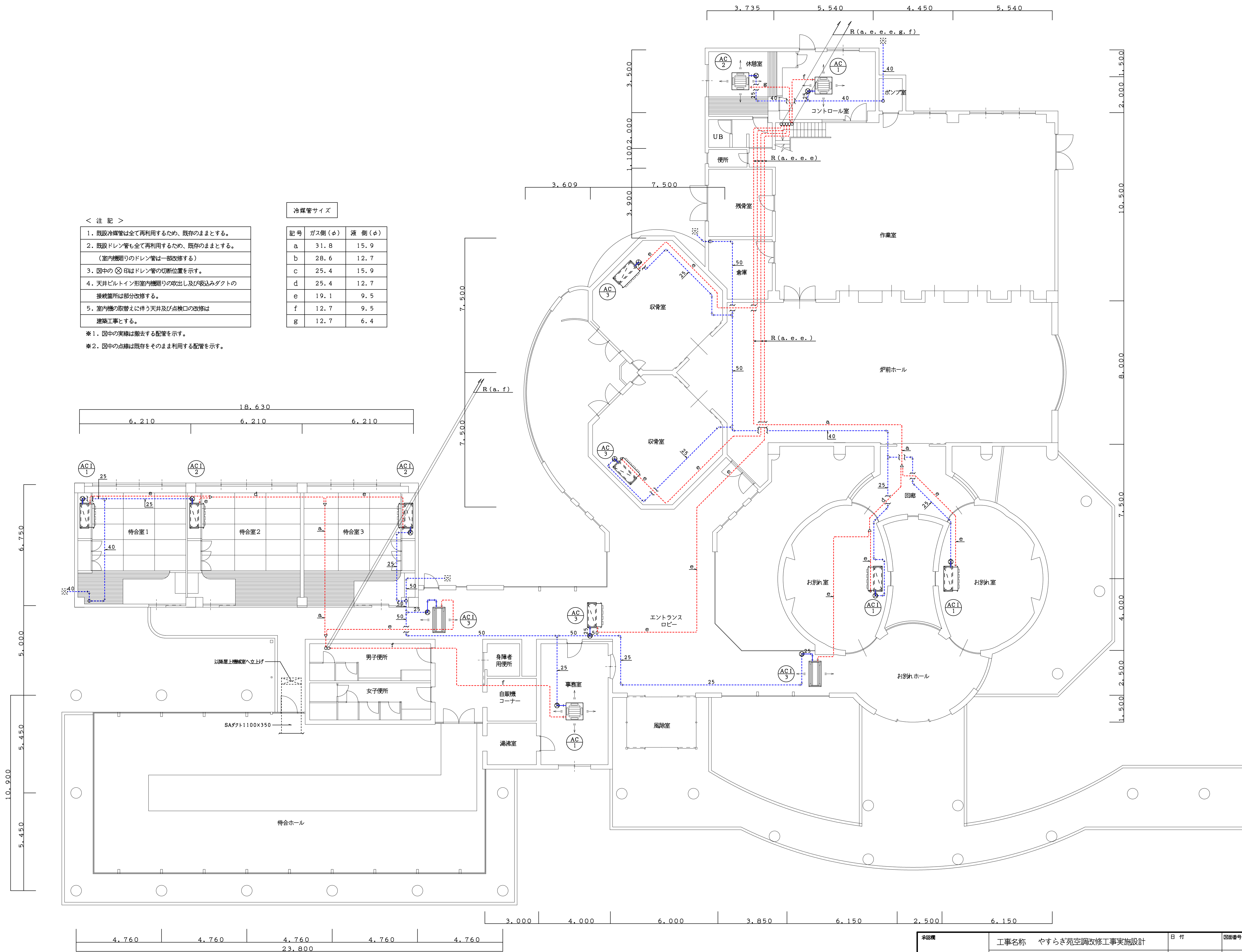
（改修前・撤去）空調設備工事 機器表

縮尺

S=1/100

荒木祐徳デザイン研究所

行橋市行事4丁目20-36 事務所登録：福岡 第1-44292号
TEL:0930-22-8951 建築士登録： 第94687号 荒 木 祐 徳



- < 注 記 >
1. 既設冷媒管は全て再利用するため、既存のままとする。
 2. 既設ドレン管も全て再利用するため、既存のままとする。
 3. 図中の ⊗ 印はドレン管の切断位置を示す。
 4. 天井ビルトイン形室内機廻りの吹出し及び吸込みダクトの接続箇所は部分改修する。
 5. 室内機を取替えるに伴う天井及び点検口の改修は建築工事とする。
- ※1. 図中の実線は撤去する配管を示す。
※2. 図中の点線は既存をそのまま利用する配管を示す。

冷媒管サイズ		
記号	ガス側 (φ)	液 側 (φ)
a	31.8	15.9
b	28.6	12.7
c	25.4	15.9
d	25.4	12.7
e	19.1	9.5
f	12.7	9.5
g	12.7	6.4

備考

承認欄	工事名称	やすらぎ苑空調改修工事実施設計	日付	図面番号
	図面名称	(改修前・撤去)空調設備工事 1階平面図	縮尺 S=1/100	M-08
	荒木祐徳デザイン研究所 行橋市行幸4丁目20-36 事務所登録：福岡 第1-44292号 TEL:0930-22-8951 建築士登録： 第94687号 荒 木 祐 徳			

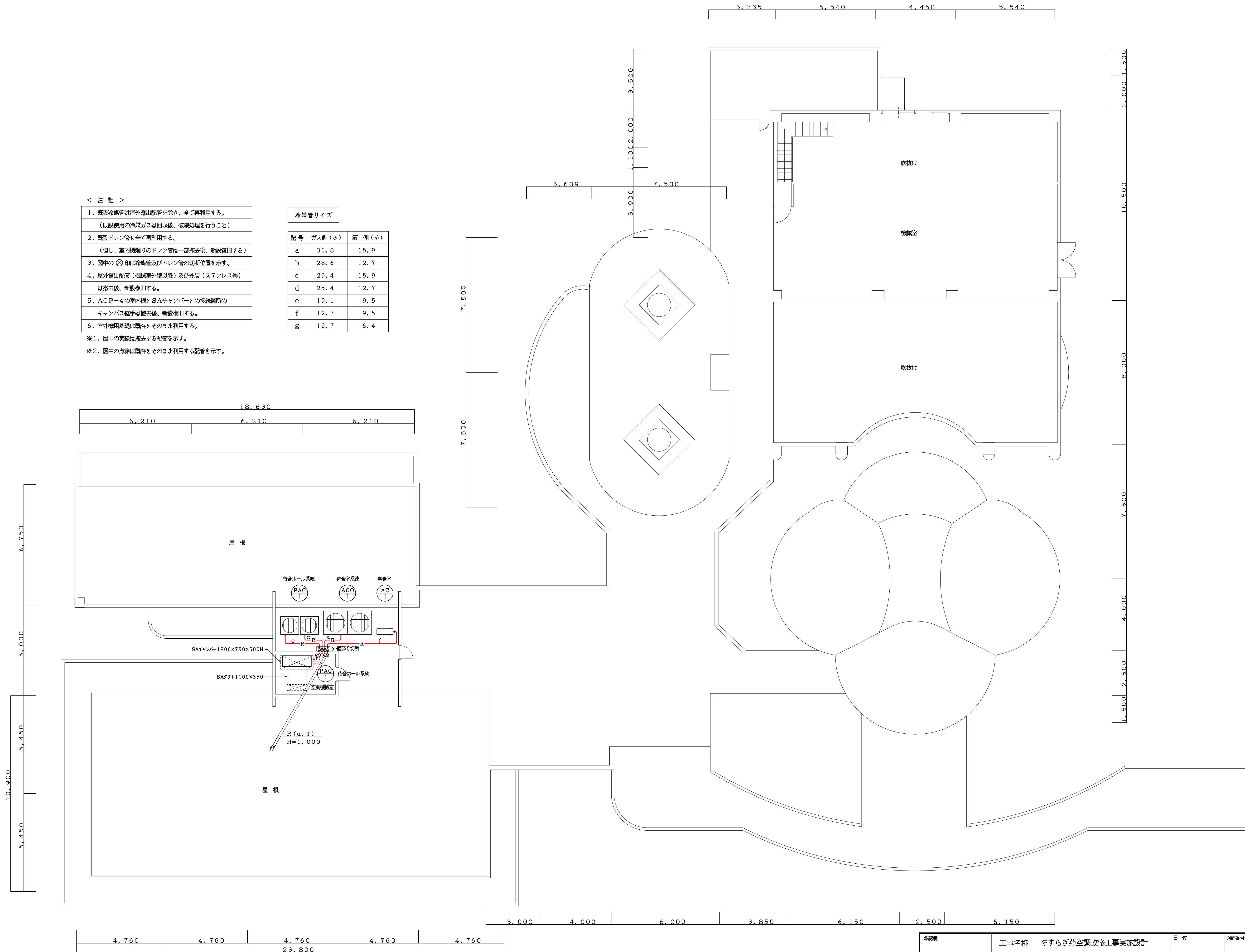
< 注 記 >

1. 既設冷媒管は屋外露出配管を除き、全て再利用する。
(既設使用の冷媒ガスは回収後、破壊処理を行うこと)
2. 既設ドレン管も全て再利用する。
(但し、室内機回りのドレン管は一部撤去後、新設復旧する)
3. 図中の ⊗ 印は冷媒管及びドレン管の切断位置を示す。
4. 屋外露出配管(機械室外壁以降)及び外装(ステンレス巻)は撤去後、新設復旧する。
5. ACP-4の室内機とSAチャンバーとの接続箇所のカンバス継手は撤去後、新設復旧する。
6. 室外機用基礎は既存をそのまま利用する。

※1. 図中の実線は撤去する配管を示す。
※2. 図中の点線は既存をそのまま利用する配管を示す。

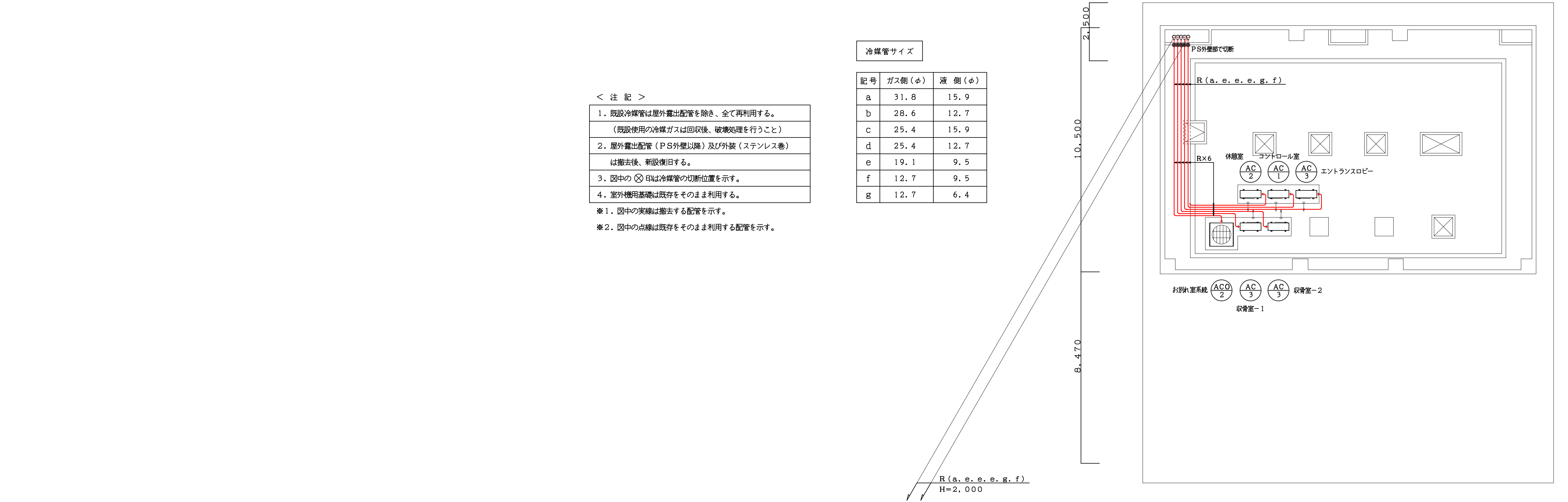
冷媒管サイズ

記号	ガス側(φ)	液側(φ)
a	31.8	15.9
b	28.6	12.7
c	25.4	15.9
d	25.4	12.7
e	19.1	9.5
f	12.7	9.5
g	12.7	6.4



備考

承認欄	工事名称	やすらぎ苑空調改修工事実施設計	日付	図面番号
	図面名称	(改修前・撤去)空調設備工事 2階平面図	縮尺 S=1/100	M-09
	荒木祐徳デザイン研究所 行橋市行幸4丁目20-36 事務所登録: 福岡 第1-44292号 TEL: 0930-22-8951 建築士登録: 第94687号 荒木 祐 徳			



電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

I. 工 事 名 称 やすらぎ苑空調改修工事実施設計

II. 工 事 概 要

1. 総合発注の有無
- 本工事は、以下の工事を含む。（詳細は、図面参照のこと）
- 建築工事
 - 機械設備工事

2.工事場所 福岡県行橋市大字上稗田1200-1

3. 建 物 概 要

建築物名稱	構造	層數	延面積 (m ²)	防火對象物の種別	備考
本棟	RC	2		15項	

4. 工 事 種 目 (○印を付けたものを適用する)

工 事 種 目	建 物 別	工 事 種 別				
		エレベータ棟			屋 外	備 考
・ 電 灯 設 備		一式	一式	一式		
○ 動 力 設 備	改修	一式	一式	一式		
・ 避 雷 設 備		一式	一式	一式		
・ 受 変 電 設 備		一式	一式	一式		
・ 静 止 形 電 源 設 備		一式	一式	一式		
・ 発 電 設 備		一式	一式	一式		
・ 構内情報通信網設備		一式	一式	一式		
・ 構 内 交 換 設 備		一式	一式	一式		
・ 情 報 表 示 設 備		一式	一式	一式		
・ 映 像 ・ 音 響 設 備		一式	一式	一式		
・ 拡 声 設 備		一式	一式	一式		
・ 誘 導 支 援 設 備		一式	一式	一式		
・ 呼 出 し 設 備		一式	一式	一式		
・ テレビ共同受信設備		一式	一式	一式		
・ 防 犯 設 備		一式	一式	一式		
・ 自 動 火 災 報 知 設 備		一式	一式	一式		
・ 中央監視制御設備		一式	一式	一式		
・ 遠 隔 量 水 器 設 備		一式	一式	一式		
・ デマンド監視・制御設備		一式	一式	一式		
・ 太 陽 光 発 電 設 備		一式	一式	一式		
・		一式	一式	一式		
・ 構 内 配 電 線 路		一式	一式	一式	一式	
・ 構 内 通 信 線 路		一式	一式	一式	一式	
○ 撤 去	撤去	一式	一式	一式		

Ⅲ. 工事仕様

1 適用仕様等

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の仕様書による。

- (1) 「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編 平成28年版）」 国土交通大臣官庁官庁庁舎部監修
 - (2) 「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編 平成28年版）」 国土交通大臣官庁官庁庁舎部監修
 - (3) 「公共建築工事標準仕様書（建築工事編 平成28年版）」 国土交通大臣官庁官庁庁舎部監修
 - (4) 「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編 平成29年版）」 国土交通大臣官庁官庁庁舎部監修
 - (5) 「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編 平成29年版）」 国土交通大臣官庁官庁庁舎部監修
 - (6) 「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編 平成29年版）」 国土交通大臣官庁官庁庁舎部監修
- 年以内に最新が刊行された場合は、最新版に準ずる。

ただし、改定内容で発注仕様の変更又は工事価格の変更

2 補足基準等

適用仕様等、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の基準、指針、要領、標準図等による。

- (1) 「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編 平成28年版)」 国土交通省大臣官庁官庁営繕部設備・環境課監修
- (2) 「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編 平成28年版)」 国土交通省大臣官庁官庁営繕部設備・環境課監修
- (3) 「建築工事標準詳細図(建築工事編 平成28年版)」 国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修
- (4) 「電気設備工事監理指針(平成28年版)」 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
- (5) 「機械設備工事監理指針(平成28年版)」 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
- (6) 「建築工事監理指針(平成28年版)」 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
- (7) 「建築改修工事監理指針(平成28年版)」 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
- (8) 「建築設備附設設計・施工指針(2014年版)」 独立行政法人 建築研究所監修
- (9) 「建築物工事安全施工技术指針・解説」 国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修
- (10) 「建設廃棄物処理指針」 厚生労働省生活衛生局
- (11) 「建築物解体等に係るアスベスト飛散防止対策マニュアル」 環境省大気保全局(環境省アスベスト飛散防止対策研究会)
- (12) 「建築工事の手引き」 福岡県建築都市部編集

年度内に最新版が発行された場合は、最新版に準じる。

ただし、改定内容で発注仕様の変更、又は工事価格の変更が生じる場合は、県担当者と協議すること。

3 特記仕様

- (1) 項目は、○印のついたものを適用する。
- (2) 特記事項のうち選択する事項は、○印のついたものを適用する。

①機材

この工事に使用する機材は、監督職員の承認を受ける。
なお、材料及び製品については、地域産材の使用に努めること。
また、機材の選定に当たっては、グリーン購入法に適合したものを優先すること。

②電気工作物

・一般用電気工作物
○事業用電気工作物

③電気保安技術者

事業用電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。

④工事に必要な資格
(建設業法に関するものを除く)

○第1種電気工事士
第2種電気工事士(もしくは上位資格)
・特種電気工事資格者(非常用予備発電装置)
工事担任者第1種(もしくは上位資格)
・消防設備士機械類
・施設工アンカー第1種施工士(もしくは上位資格)

⑤官公庁その他への手続き

この工事に必要な官公署その他の関係機関への諸手続等は、これに必要な資機材、労務、及び費用を請負者の負担にて速やかにおこない、その検査に合格すること。

⑥工事用電力・水その他

本工事に必要な工事用電力(仮設電力及び試運転調整用電力等を含む)・水及び諸手続等の費用は、すべて請負者の負担とする。

⑦残土処分

・構内指示の場所に散均し
・構内指示の場所に堆積
・構外搬出適切な処理

⑧他工事との取合い

・施工区分表による
○図面詳細による

⑨再利用機器

取外し再利用機器は、原則として清掃並びに絶縁抵抗測定を取外し前後で行った後、取り付けること。
但し、絶縁劣化等再使用に耐えない場合は、監督職員に報告すること。

⑩耐震施工

設備機器の固定は、すべて「建築設備耐震設計・施工指針」(2014年版)によるものとする。
(1)設計用標準震度(Ks)
機器毎の耐震安全性の分類及び設置場所により下表より求める。

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、 屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
地階及び1階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

()書きの数値は防震支持の機器の場合に適用する。

(2)耐震安全性の分類
○特定の施設
一般の施設

(3)地域係数(Z)
地域係数(Z)は、1.0とする。

11.合成樹脂製可とう電線管

環境対応型合成樹脂製可とう管(PF管)の一重管とする。なお、打込配管として使用する場合、原則として呼び径を22mmとする。
また鉄筋等への結束には樹脂被覆を施したバンド線を用いること。

12.プレートの材質

・金属製(防水形配線器具を除く)
・樹脂製

13.フロアプレート

ベースは、水平高調整プレート(空転防止リング付)とする。
・砲金製
・アルミ製

14.ハイテンション

・上下彫形
・外部彫定形
・内部彫定形

⑪露出配管等の塗装

屋内においては特記がなければ、F☆☆☆☆製品とし、屋外においても低VOC塗料の使用に努めること。

16.呼び線

長さ1m以上の入線しない電線管には電線太さ1.2mm以上の樹脂被覆鉄線を挿入する。

17.表示

スイッチ・コンセント及びプルボックスで用途の判別し難いものは、表示する。

18.地中線埋設シート

地下埋設の線路には、保護シートを2倍長以上重ね合わせて布設するものとする。

19.地中埋設標

電力用(矢指色：赤色)
・樹脂製
・コンクリート製
・鉄製

通信用(矢指色：黄色)
・樹脂製
・コンクリート製
・鉄製

20.地中埋設配管
(GL-600の埋合)

・根切り深さが1.5m未満の場合は直堀工法とし、1.5m以上の場合には法付工法とする。
法付工法の法幅は、根切り深さに0.3を乗じたものとする。
・床堀幅は、埋設管類などの外径(底面)の寸法にゆとり幅×2を加えたものとする。
ゆとり幅(a)及び埋設管相互の間隔(b)は、下表を参照のこと。

ゆとり幅(a)	根切り深さ 1未満	根切り深さ 1以上1.5未満	根切り深さ 1.5m以上	埋設管の 呼び径 間隔(b) (左右・上下)
地中電線管類	0.2m	0.4m	0.3m	50以下 50mm 150# 70mm
地下埋設管	0.5m	0.5m	0.5m	200# 100mm

21. 接 地 極

接地極の材料は下表による。接地極の近くに接地極埋設棒 90×14×1.5t（黄銅製・刷印）を設置すること。なお、接地棒 EB（14）φ の長さは 1,500mm 以上とし、10φ・14φ は、W=40 として差し支えない。

接 地 の 種 別	記 号	接地抵抗値	接 地 極
・ 共 同	E _{AOD}	Ω 以下	
・ 共 同	E _{AD}	Ω 以下	
・ A 種	E _A	10Ω 以下	
・ B 種	E _B	Ω 以下	
・ C 種	E _C	10Ω 以下	
・ D 種	E _D	100Ω 以下	EB（10）φ × 1（L=1,500mm）
・ 避 雷 設 備	E _L	10Ω 以下	
・ 高 圧 避 雷 器	E _{LR}	10Ω 以下	
・ 低 圧 避 雷 器	E _{LL}	10Ω 以下	
・ 交 換 機 用	E _t	10Ω 以下	
・ 通 信 用	E _{At}	10Ω 以下	
・ 通 信 用	E _{Qt}	100Ω 以下	EB（10）φ × 1（L=1,500mm）
・ 測 定 用	E _O		EB（10）φ × 1（L=1,500mm）

22. 構 内 交 換 設 備
工 事 範 囲

避雷設備の接地抵抗値は、総合抵抗とする。

本工事における構内交換設備の工事範囲は、以下のとおりとする。

・ 構内交換装置

・ 電話機取付け（台）

・ 配管配線まで本工事

・ 配管のみ本工事

・ 配線のみ本工事

23. 電 話 機 へ の 配 線

電話機 1 台につき次のものを見込む。

・ T1VF（T1VE） 0.65-2C m

・ EM-T1EF（T1EE） 0.65-2C m

・ EBT 0.4-2P m

・ EM-BTIEE 0.4-2P m

・ 2 号ワイヤプロテクタ m

24. 構内情報通信網設備
工 事 範 囲

本工事における構内情報通信網設備の工事範囲は、以下のとおりとする。

・ 構内情報通信網装置

・ ネットワーク管理装置

・ 配管配線まで本工事

・ 配管のみ本工事

25. LANケーブルの色

・ 幹線LAN：赤色 ・ 枝線LAN：黄色 ・ 生線LAN：水色 ・ 認証ネットワーク：指定なし ・ その他：指定なし

26. 機器と配線の接続

拡声設備において、増幅器などの入出力線と配線の接続は、コネクタなどを取付けて行うこと。

27. インターロック

自動火災報知設備において、感知器が作動した場合に受信機及び運動制御機と連動して空調機並びに送排風機を停止させる。

28. ガス漏れ警報装置
受 信 機

・ 単 独（ ・ 自立形 ・ 壁掛形 ）

29. ガス漏れ警報装置
検 知 器

・ 液化石油ガス用 ・ 都市ガス用

30. 防犯設備工事範囲

・ 配管のみ本工事 ・ 機器取付調整まで本工事

31. 郵便配達場所

郵便配達箇所において は投函機を使用し、コンクリート内配筋を避け貫通すること。

32. 発電機回路コンセント

発電機回路に接続されるコンセントは、回路種別が識別できるものとする。

33. マンホール
ハンドホール蓋

蓋中央部に泉章を刻印すること。また、用途別に「高圧」「電気」「弱電」の刻印をすること。

③4. ブルボックス

屋外に設置するものには、事前に水抜き穴を設けること。

35

建築副産物の処理について

資源の有効利用・環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制・再利用・適正処理を推進する。

現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別保管場所を設置し集積すること。

また、「再生資源の利用の促進に関する法律」・「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び建設廃棄物処理指針その他関係諸法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、指定された方法により適正に処理を行うこと。

工事に際しては、工事着手時に「建設副産物処理計画書」、工事竣工時に「建設副産物処理結果報告書」（共に添付書類を含む）を提出すること。

指定副産物（原則として、再資源化施設へ持込むもの）	その他の副産物
・が れ き 類 (コンクリート塊) (アスファルト コンクリート塊) ・木 く ず ・建 設 発 生 土 ・汚 泥	・廃 プ ラ ス チ ッ ク ・ガラス・陶磁器くず ・廃 石 こ う ボ ー ド ○金 属 く ず ・機 械 く ず

特別管理産業廃棄物

・廃 石 綿 等

「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル」（環境省大気保全局）に従い、収集・運搬・処分を行うこと。

・廃 P C B 等

「電気事業法：電気関係各種規則」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、報告書の作成・届出を行うとともに、適切に保管できるようにして施設管理者に引き渡すこと。

※ 参考受入場所は、現場説明書による。

建築副産物の処理内容

処 理 内 容	備 考
現場内における分別	
現場内分別保管場所の設置	
現場内分別保管場所までの運搬	
分別保管場所からの積み込み・運搬・処分	
「建設副産物の処理計画書」の作成	下請工事の場合は不要
「建設副産物の処理結果報告書」の作成	下請工事の場合は不要
「再生資源利用計画書」の作成	下請工事の場合は不要
「再生資源利用実施書」の作成	下請工事の場合は不要

36. そ の 他

（注記）

1. 活線作業はしないこと。

2. 空胴機の一時的取外し及び復旧は機械工事とする。

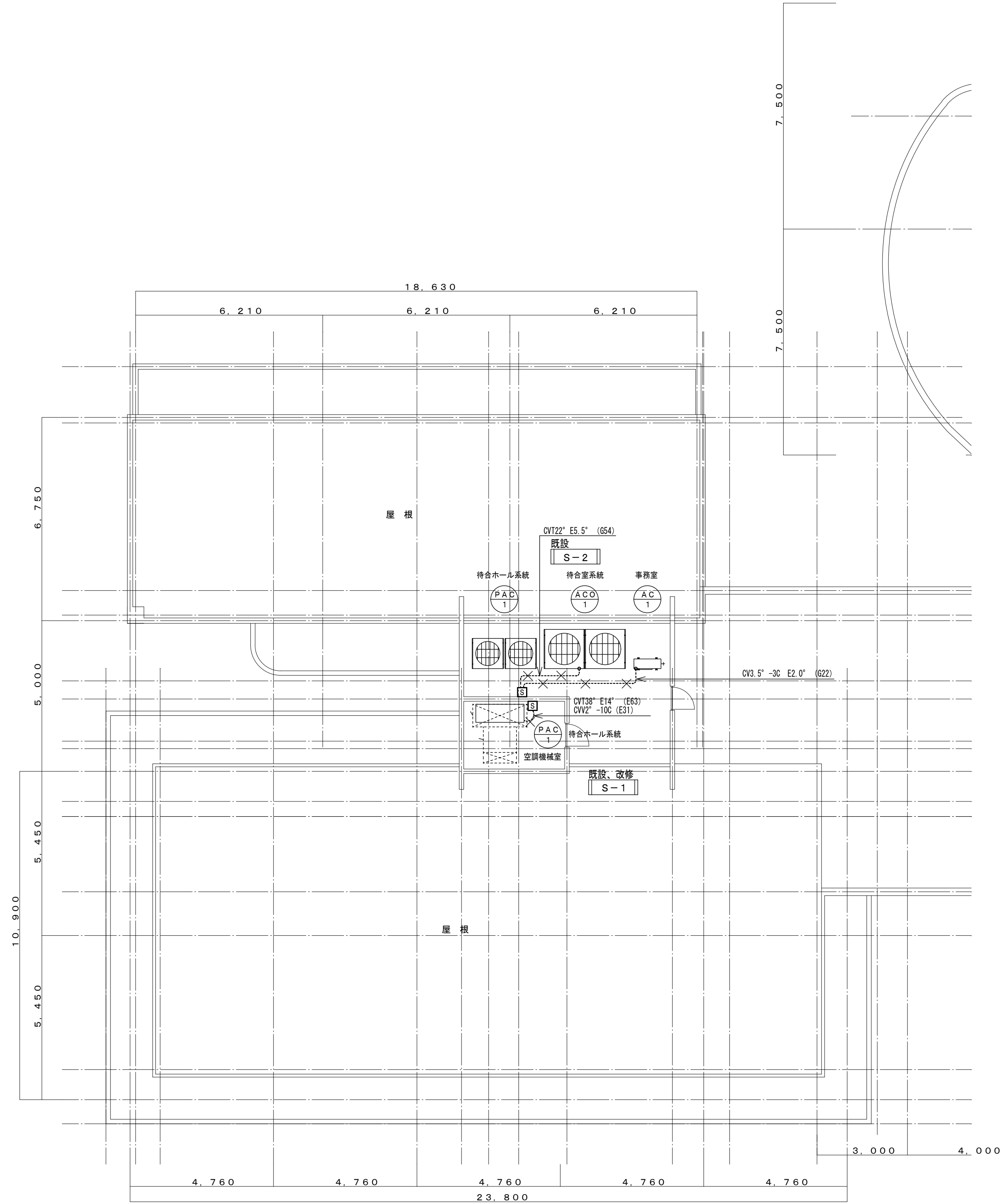
3.

4.

承認欄	工事名称	やすらぎ空調改修工事実施設計	日付	図面番号	E-01
	図面名称	電気設備工事特記仕様書	縮尺 S=N・S		
荒木祐徳デザイン研究所 行橋市事4丁目20-36 事務所登録：福岡 第1-44292号 TEL:0930-22-8951 建築士登録：第94687号 荒 木 祐 徳					

改修前

盤リスト		
盤 名	ブレーカーサイズ	備 考
S-1	ELCB3P225AF/150AT x 1	ﾌﾟﾚｰｶｰのみ撤去

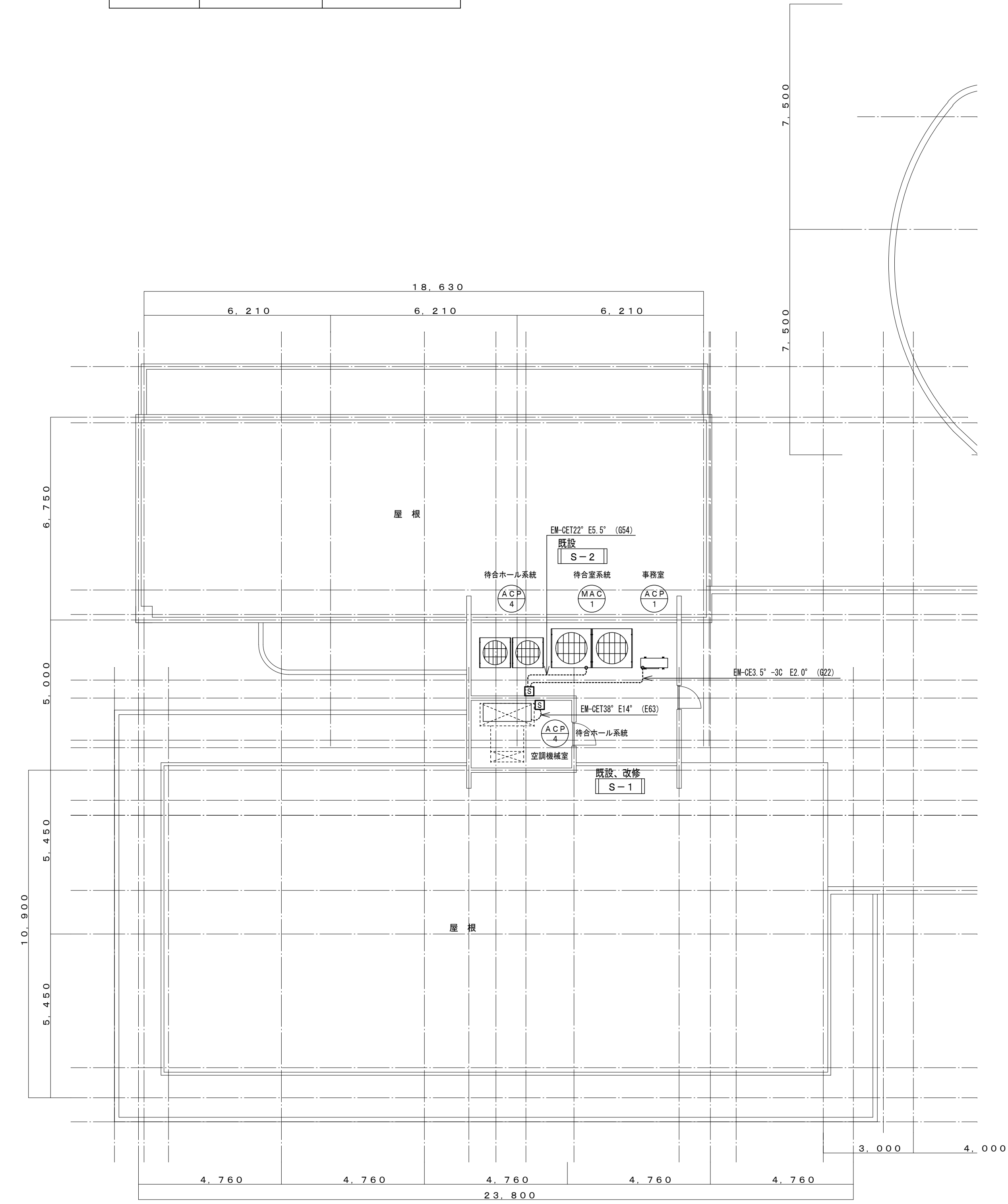


X : 撤去を示す

備 考

改修後

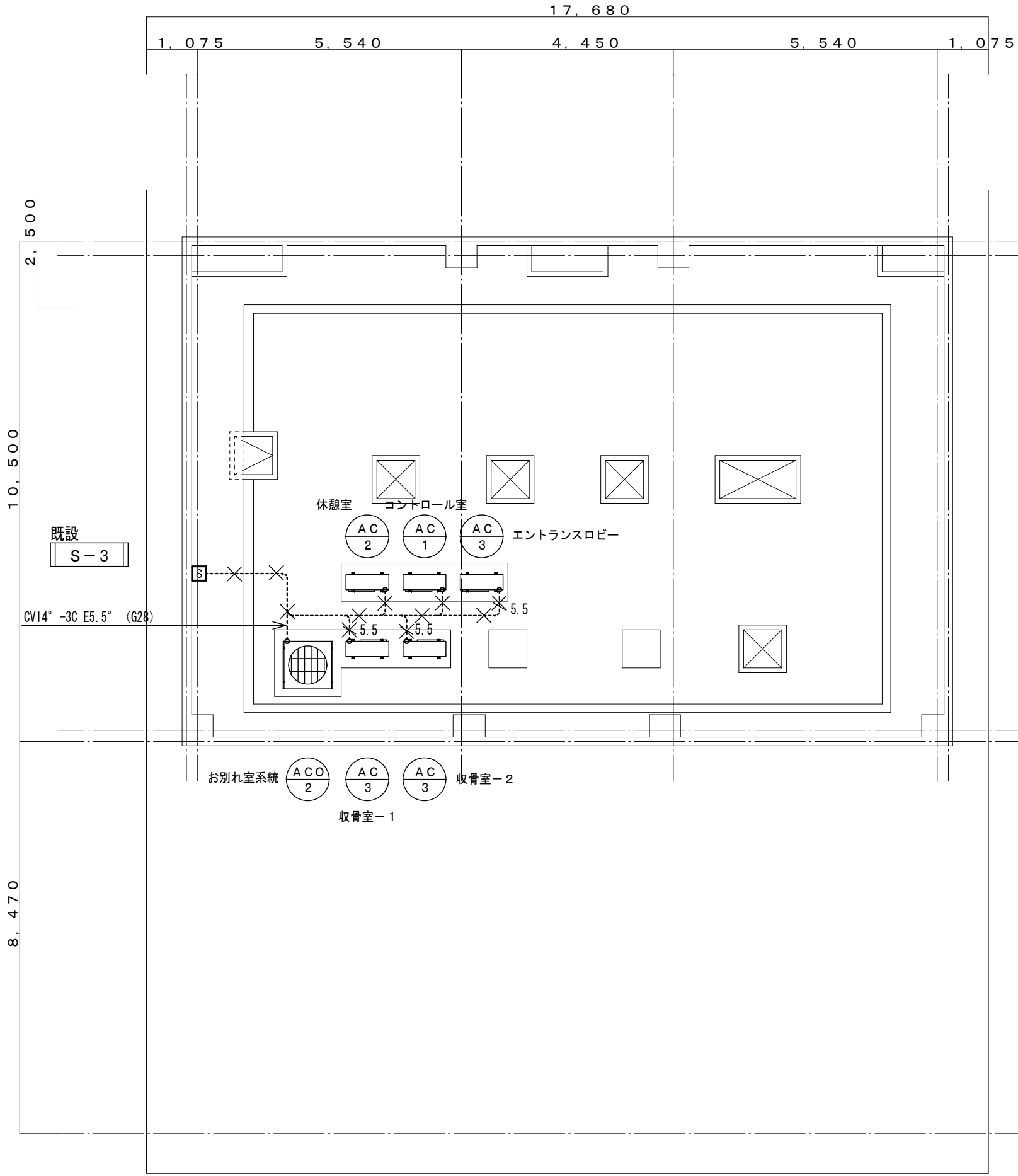
盤リスト		
盤 名	ブレーカーサイズ	備 考
S-1	ELCB3P225AF/125AT x 1	ﾌﾟﾚｰｶｰ新設



承認欄	工事名称	やすらぎ苑空調改修工事実施設計	日 付	図面番号
	図面名称	(改修前後) 電気設備工事 2階平面図	縮 尺 S=1/100	E-02
	荒木祐徳デザイン研究所 〒100-0001 東京都千代田区千代田 4丁目20-36 事務所登録：福岡 第1-44292号 TEL: 0930-22-8951 建築士登録： 第94687号 荒 木 祐 徳			

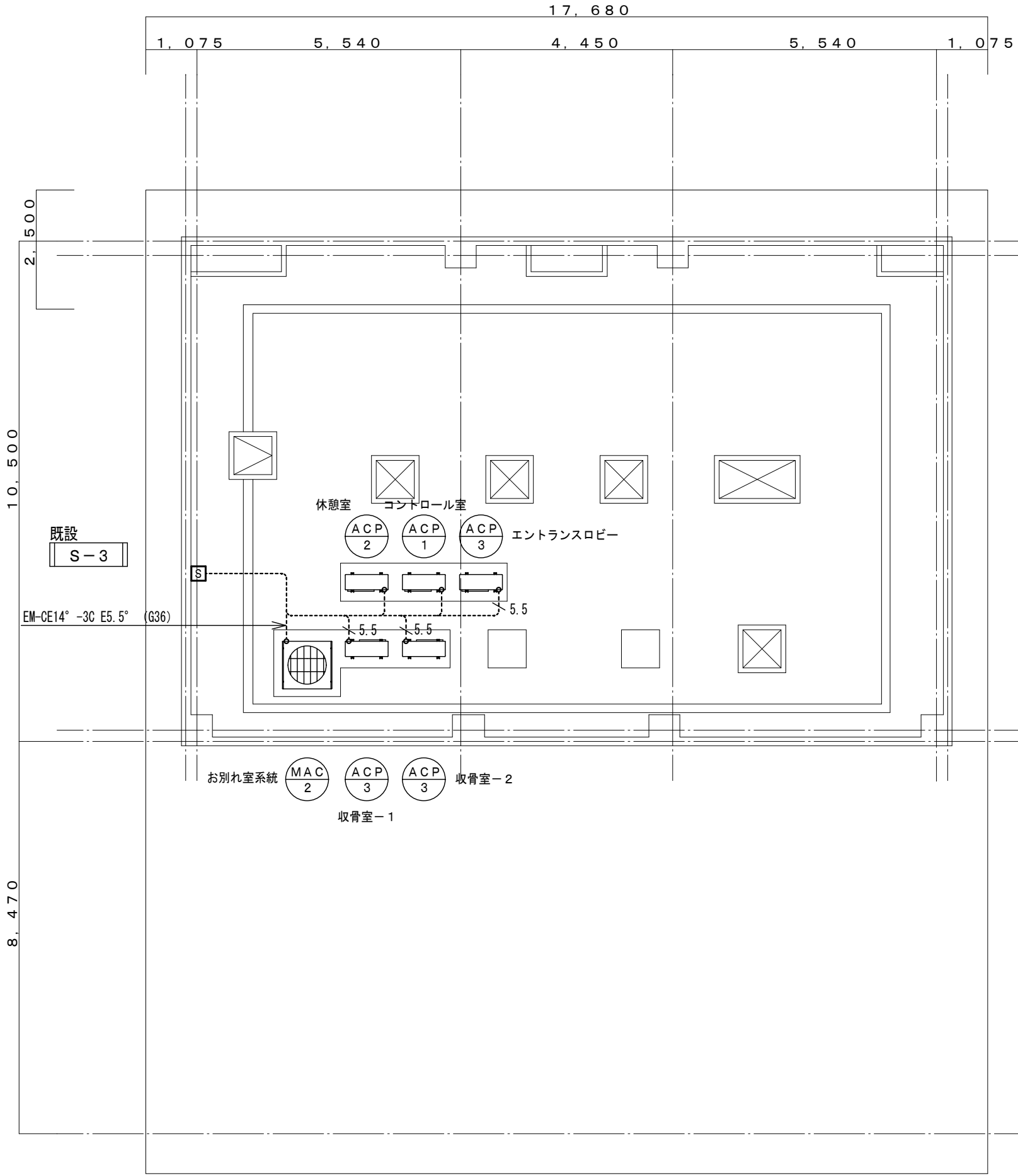
改修前

配線リスト		
記 号	名 称	備 考
.....	CV3.5" -3C E2.0 (G22)	
..... 5.5	CV5.5" -3C E5.5" (G22)	



改修後

配線リスト		
記 号	名 称	備 考
.....	EM-CE3.5" -3C E2.0 (G22)	
..... 5.5	EM-CE5.5" -3C E5.5" (G28)	

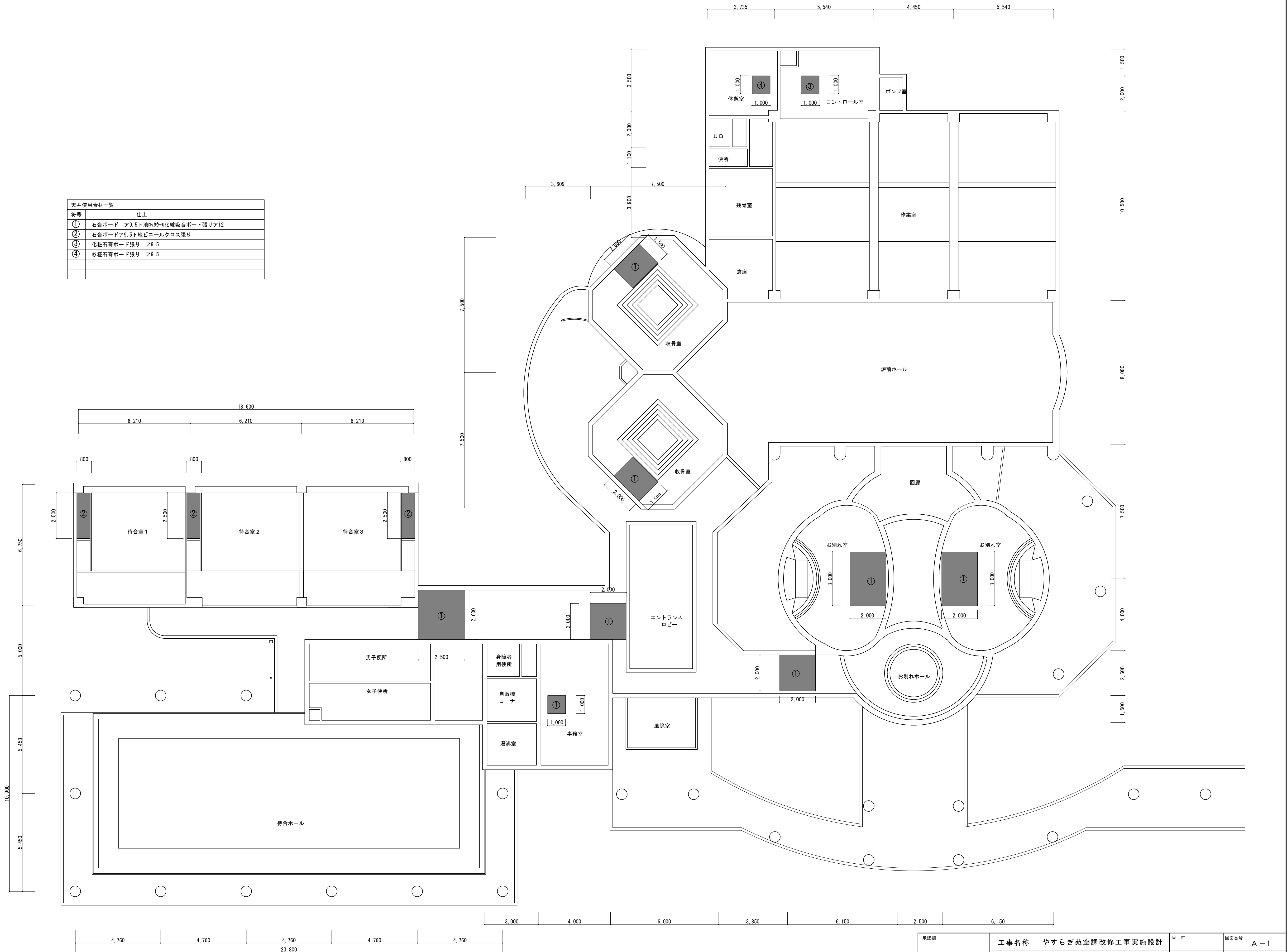


X : 撤去を示す

備考

承認欄	工事名称	やすらぎ苑空調改修工事実施設計	日 付	図面番号
	図面名称	(改修前後) 電気設備工事 R階平面図	縮 尺 S=1/100	E-03
	荒木祐徳デザイン研究所 行橋市行幸4丁目20-36 事務所登録：福岡 第1-44292号 TEL：0930-22-8951 建築士登録： 第94687号 荒 木 祐 徳			

天井使用素材一覧	
符号	仕上
①	石膏ボード ア9.5下地 $\times$ カ-ル化粧吸音ボード張りア12
②	石膏ボードア9.5下地 $\times$ ビニルクロス張り
③	化粧石膏ボード張り ア9.5
④	杉桎石膏ボード張り ア9.5



備考 石膏ボードの規格が9mmから9.5mmになっている為、仕上げ面に注意

承認欄	工事名称	やすらぎ苑空調改修工事実施設計	日付	図面番号
	図面名称	1階天井補修図	縮尺 S=1/100	A-1
	荒木祐徳デザイン研究所 行橋市行事4丁目20-36 事務所登録：福岡 第1-44292号 TEL.0930-22-8951 建築士登録： 第94687号 荒木 祐 徳			